

こしば新聞

令和6年3月25日(月)62号

予算特別委員会

品川区議会では3月4日から21日にかけて予算特別委員会(通称ヨトク)が開催されました。今回のヨトクでは236.3億円にのぼる予算案がそれぞれの費用(款別)で審議され、21日に会派別の総括質疑が行われました。1月31日のプレス発表のあと、日刊新聞でもとりあげられた事業(児童生徒の学用品の無償化、預かり保育の拡充、不妊治療の補助など妊娠から子育てに至る支援や携帯トイレの配布、コンビニにAEDを設置、耐震診断費用の全額補助、マンション等のエレベーターにおける防災チェアの設置など)安心安全を守る支援など)を含めた事業が審議されまし

た。今回の事業は総額で236.3億円をこえる支出となりましたが、その1%にあたる20億円は事務事業評価をもとにして、見直され削減された事業もありました。それらを「幸せ」を意味するウエルビーイング予算(これはニュージランドの予算編成への考え方)に充てる形で上記のような事業が新たに盛り込まれました。

オンデマンド交通

これまで何度も一般質問や予算・決算委員会を取り上げてきました西大井・大森駅間のコミュニティバス。なかなか西大井の循環ルートの実現が難しい状況の中、今回の予算案にオンデマンド交通が盛り込まれました。オンデマンド交

通とは、バスのような大型の車両ではなく、8人乗りのバンやタクシーなどを交通機関として活用し、AIの活用で個人個人の移動を支援する仕組みです。今回はこのオンデマンド交通について質疑しました。

(こしば)

オンデマンド交通の実証時期やルートについて伺いたい。また西大井循環ルートも含めて駅から遠いエリアに住む区民の利便性を図ってほしい。(品川区)

きめ細かな交通ネットワークの実現、利便性の向上を目指し秋ごろには実証実験を開始していきたい。



高齢者とデジタル



【お問い合わせ先】

自由民主党
東京都品川区第三十四支部
〒140-0014

品川区大井 5-6-2-101

☎ 090-6106-2272

Fax 03-6303-7037

※ご希望の方には新聞をお届け致しますので、ご連絡願います。

社会生活の中でデジタル化が進んでいき、デジタルデバイスと呼ばれる格差が生まれていきます。デジタルを活用し恩恵を受ける人、一方でなかなか活用できず恩恵を受けることができない人がいる社会は不幸な社会です。誰もがデジタルの恩恵を受けるために品川区ではこのたび高齢者向けのアプリ教室を実施することになりました。民生費ではこのアプリ教室を中心に高齢者のデジタル社会への参加促進事業を質疑しました。

(こしば)

このアプリ教室を実施する回数や、1回あたりの人数、どのエリアで行うのか?

(品川区)

年間で12回実施、始めるのは10月以降なので月に2回13地域まんべんなく実施予定。人数は各回20人ほど

(こしば)

一つの地域センターで年間1回しか行われなくなると20人では少ないのでは。高齢者が参加しやすいように人数の増を検討願いたい。

(品川区)

運営事業者と協議して今後は拡充を検討していきたい



ご相談や区政へのご意見をお聞かせ下さい。
☎ ぜひラインも



商店街支援

商店街支援をこれまで取り扱ってきましたが、ある時、課長と話をすることで「促進」を求めてもそもそもイベントを行える体力のない、だいぶ弱ってきている商店街もあるという話を聞きました。ともかくにも商店街の促進が街の経済活性化に繋がると声を大にしても、それが逆効果になるかもしれないという気付きを得ることができました。確かに私の住むエリアでも商店街が昨年の春に解散し、長らくイベントが実施できていない商店街もあります。商店街の支援として、そういう商店街も含めた多角的な支援が必要ではないのかと考えるにあたって、これからは促進も大事ですが「閉じていく支援」いわば「終活の支援」も必要ではないかと考えるようになりました。そこでこのたびの委員会では商店街を閉じていく支援につながる取組みについて質疑しました。

(こしば)
商店街を閉じ、商店街にあっ

た街路灯が一斉に撤去されたことがあった。その結果、地域からは夜道が暗くて危ない、どうかしてもらいたいという声を頂き、道路課と相談して解決に繋がった。品川区では商店街を解散する場合にはどのような点を支援しているのか？

(品川区)

商店街の解散に伴う街路灯の撤去は安全性に問題があるのではないかと声を頂いている。道路課と調整して新たに設置していくことをこれからも行っていく。

自衛官募集事務

自衛官の募集事務は品川区の仕事？と疑問に思われた方もいらっしゃると思います。実は自衛隊法により自治体は自衛官の募集事務を法定受託事務として行っています。事務費としてわずかですが毎年予算に計上されています。

今回は歳入の場面で共産党から品川区は自衛官の募集事務にあたり住民台帳を提供しているのではないかと？といった質疑が出ておりました。

すでに自衛隊法により認められているにも関わらずです。区の答弁は提供していないとの答弁でしたが、提供していたとしても何ら問題はないのです。昨今の自衛隊入隊者は毎年減少しています。採用計画数の60%ほどしか入隊していない状況にあり、「士」と呼ばれる現場で活動する自衛官の数が定員の7割程度という統計からも自衛官の入り口にあたる募集事務を品川区でもっと展開してもらいたく質疑しました。

自治体もある。誤解や批判を受けることのないよう、品川区でもHPで自衛官の募集事務についての取り扱いや法的な根拠を明示してはどうか？

(品川区)

品川区の名簿の提供の方法について区のHPに記載することについては、関係課と共有して今後検討していきたい。

(こしば)
自衛官の募集案内を募集時期に合わせて区の施設や町会自治会の掲示板やFMしながら品川ケーブルSNSなどを活用して展開してもらいたい。

(品川区)
「広報しながわ」に年に5回実施している。募集のタイミングでデジタルサイネージを活用した方策について検討している。

(こしば)
自衛隊に提供する住民台帳の件で特定の団体や政党から批判の矢面に立たされている

自治体もある。誤解や批判を受けることのないよう、品川区でもHPで自衛官の募集事務についての取り扱いや法的な根拠を明示してはどうか？



総括質疑

21日に区議会自民党・無所属の会を代表しまして西村なおこ区議と共に総括質疑を行いました。総括質疑の模様は品川ケーブルでも放映されますが、後日品川区議会のHPからもご視聴できます。内容については次回の新聞にて取り上げたいと思います。

区民公園

南大井にある品川区民公園がこのほどリニューアルイベントを行いました。

私もこれまではBQや朝のラジオ体操に伺ったことはあったのですが公園全体を歩くことは今回が初めてでした。歩いて気付いたこと

・とにかく綺麗

ゴミ一つ落ちていないと言っても過言ではないほどきれいに整備されました。ジョギング、ウォーキングにはもってこいの場所です。

・眺めるだけで楽しめる

公園の北側から様々な健康遊具、かけっこができる小山、防災トイレ、少年サッカー場、テニスコート、子供の遊び場、BQ場、トンネルを抜けると、小川が流れ、しながわ水族館をぐるっと一周できます。

公園内には駐車場がありますし、水族館の外にはホットドックやソフトクリームなど軽食の売店もありますし川の傍でレジャーシートも敷けます。春のひと時を堪能してみたいかがでしょうか。

(了)